

③IT・サービス産業誘致のための受け皿整備事業

・コールセンター・ソフトウェア開発にかかる人材育成：パソコン操作や電話応対など、地元の人材を育成し、地元の人材を求職者として、より高度な研修会を実施する。

・Uターン者・潜在的Uターン者発掘による人材確保：天草地域産業・雇用創出協議会のホームページを活用し、天草地域外の勤務者やふるさと会・高校同窓会の会員への求人情報などの発信、潜在的Uターン者のリスト化と電子メールによる人材募集など、地元に戻って仕事をしたい人などのために、情報提供する仕組みをつくる。

◆地場産業の振興

①地元企業コンシェルジュ（御用聞き）事業

・職員による巡回・相談・仲立ち：情報収集力が弱い小規模企業のため、市職員が企業を訪問して要望を探り、企業が求める情報などをわかりやすく提供する。また、必要に応じて国・県・関係団体などへの相談時などに同行する。さらに、補助金の申請方法などについて助言する。

・各種産業の実態調査：各種産業のさまざまなデータを収集・分析し、実態を把握するとともに、今後の施策を検討する。

②地元企業のがんばる意欲応援事業

・アドバイザー往診事業：商品開発や販路開拓、経営改善の講習会やセミナーを天草で開催する。発や販路拡大、経営改善などを行うために専門家を派遣し、事業所・企業の新事業展開や業態転換を図る。

③天草の特性を生かした地場産業振興事業

「天草ブランド戦略策定事業」

がんばる地場企業
新たな取り組み③

株山田組
(建設業・五和町二江)

五和町二江に事務所を構える株山田組。現在の社長である丸山光徳さんの父親が55年ほど前に創業した。「建設業は、不景気のときでも昔

の施設内にある養殖場で2年半ほどかけ9〜10cm、80〜100gに成育したものを関西方面に出荷している。丸山社長は「水温管理に特に気を使う。海水を利用してため海水温の上昇などの不安があるが、設備を充実させるなどして対応していきたい」と話す。

は仕事があったが、近年は公共工事の減少などで仕事がない」と、厳しい現状を語る丸山社長。何とか活路を見いだそうと、約8年前からマンゴーや海ぶどうなどの試験栽培を実施。それらの中からアワビを養殖することを決め、本業を行うかたわら平成15年に本格的な取り組みを始めた。現在、クロヤメガイなど4種のアワビを年間約4,000kg生産。長崎などから25mmほどの稚貝を仕入れ、事務所横



▲アワビの出荷作業に汗を流す社員

がんばる誘致企業
これからの取り組み

武蔵株
(ITサービス業・南新町)

東京都港区にあるビルの一角に本社事務所を構える武蔵株（大田智一郎社長・深海町出身）。不動産向けのシステム開発などを手がける会社で、同社のシステム開発や顧客支援を行う開発サポートセンターが平成19年4月、誘致企業として本市に進出した。

この進出は、「生まれ育った天草に貢献したい」という大田社長の思いから実現。南新町にある事務所では現在、社員11人（うち天草の高卒者4人）が関東や関西向けの商品開発などを行っている。同センター商品開発部長の竹下勇さんは、「この分野は、作業環境さえ整ってい



▲開発サポートセンターで社員の作業状況を確認する大田社長（写真左）

れば、東京でも天草でも同じ仕事ができる。天草はリラックスできる環境で、仕事に集中できます」と話す。大田社長は「今後、できるだけ天草市出身の新卒者を採用し、20人程度の体制にしたい。また天草でできる新事業も展開していく予定」と抱負を語る。

④関係機関との連携

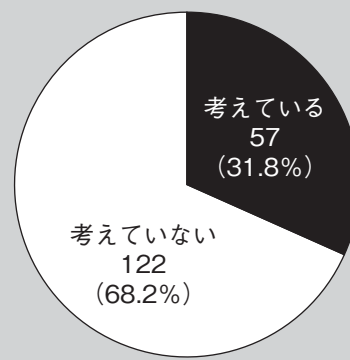
あらゆる業種・業態の商工業者を会員に持つ「商工会議所・商工会」や、中小企業診断士などの専門家による無料相談や取引先の紹介を行う「地域力連携拠点」として経済産業省から選定された「あまくさ農業協同組合」と連携し、地場産業の支援を行う。

事業所・企業からの各種相談などを受け付けています。お気軽にご連絡ください。

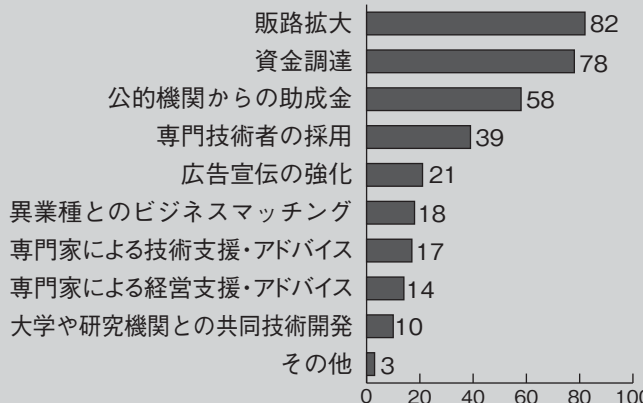
天草地域産業・雇用創出協議会事務局（天草市役所本庁（別館）・商工観光課産業支援係内）
☎11111 内線2552
☎6787（直通）
【電子メールアドレス】
sangyousen@city.amakusa.lg.jp

「事業所・企業の経営」

①新規事業分野への進出・業態転換



②今後の事業継続・拡大に必要なもの（3つまで回答可）



「天草での立地環境」

○天草地域に立地するメリット・デメリット（複数回答可）

